

基本フレーズ

フレーズ No.

**001** むし歯の原因は何だと思いますか？

**002** むし歯に関する情報はどこで知りましたか？

応用フレーズ

フレーズ No.

**003** 現在、う蝕がある患者さんに  
むし歯の原因について、思い当たることはありますか？

**004** 現在、う蝕がない患者さんに  
むし歯予防で、何か気をつけていることはありますか？

◎ オープンクエスチョンで会話のきっかけを探そう

う蝕予防の継続、もしくは今後新しいう蝕を作らないようにするためには、う蝕の病因論と予防法を共有し実践することが基本です。しかし、誰にでも単刀直入にそれらを伝えていくのではなく、まず患者さんがどの程度う蝕について知識があるかを把握することが大切です。**フレーズ001**のようにオープンクエスチョンで質問し、患者さんからどんな回答が来るか待ちましょう。患者さんからは、正しい回答もあれば、少しの修正や強化だけで十分な回答、もしくは「知らない」という回答もあるでしょう。患者さんの回答に応じて、**【Scene 2】**からフレーズを選択し、患者さんに正しい情報を提供しましょう。

また、**フレーズ002**のようにその知識をどこから得たか質問してみることで、過去の通院歴や関心度も知ることができます。たとえば「健康情報番組で見た」などと回答があった場合は「健康情報番組はよく見ますか？」と話を広げ、「見ている」と回答があれば健康に興味や関心度が高い患者さんであり、積極的な情報提供を喜ぶ可能性があります。

◎ う蝕罹患状況に応じたバリエーション

患者さんのう蝕罹患状況によって、応用フレーズも会話のきっかけとして有用です。たとえばう蝕がある患者さんに**フレーズ003**のように思い当たることの有無を質問したところ、「チョコが大好きだからかなあ」と回答があったとします。そのときは、「甘いものだけがむし歯の原因ではなく、食べかたが大事」のように病因論に話題をつなげ、いつ食べているか、生活習慣の情報収集につなげていくことができます。

現在う蝕がない患者さんには、**フレーズ004**のような質問をすることで、患者さんの健康観を知ることができるでしょう。ただし、必ずしも正しい情報に基づいて健康行動をとっているとはかぎりません。たとえば「石けん歯磨き剤を使っています」のような回答もよくあります。そのような場合は、なぜ石けん歯磨き剤を選んでいるのか質問してみましょう。「歯磨き剤に含まれている添加物が怖い」などのような回答があった場合には、その人の健康観を受け止めた上で、う蝕予防には(高齢になればなるほど)フッ化物応用が欠かせないことを伝え、フッ化物の安全性や日常生活の中での応用のしかたについて興味があるか、質問してみましょう。

▶ 会話イメージ ◀



むし歯予防で、何か気をつけていることはありますか？

できるだけ甘いものは食べないようにしています。



甘いものも、食べかた次第では問題ありませんよ。

え、そうなの？ 本当は甘いもの、大好きなんですよ。



そうでしたか。それでは、いくつかむし歯予防のポイントがありますので、お話ししますね。